

photographer's Voice

悲願の一勝。

フォトグラファー／高橋章夫



韓国共催02W杯、僕が応援してる韓国はどうだったでしょうか？ 悲願は叶ったのでしょうか？ きつと初めてW杯で一勝した歴史に残る大会になったと信じています。開幕前夜に書いていたので、読む人には古いネタかもしれませんが、まあよいではないですか。なぜ僕がサッカー韓国代表を好きになったか？ ですが、簡単に言うと彼らの熱いファイト溢れるプレーにハマったんです。僕はサッカー経験者ではないし、Jリーグにもサッカー、ある日の日韓戦を機に少しづつ韓国サッカーファンになったのです。エンドラインぎりぎりまで球を追う姿、スピード、日本の攻撃を止める当たりの強い守備

にも驚きました。当時の日韓戦は素人目にもラフプレーが多い血生臭い雰囲気だったのですが、勝負への執念はすこしいと感じました。日本代表の方が技術面では優れていたけれど、キレいなサッカーで見てて熱くなれないチームだったから、なおさら韓国ファンになってしまいました。以後Jリーグの試合を見れば韓国選手を見ることはできましたが物足りず、僕の中では韓国代表こそが特別な存在だったのです。今大会韓国代表の若手、朴智星（パク・チヨウ）選手が京都パープルサンガにいます。彼はこれからの韓国だけでなく世界で活躍できるプレーヤーだと思えます。そしてそんな朴

選手と大会前にツーショット写真を撮ることに成功したのです。思い出せば98大会は欧州コンプレックス丸出しで普段のプレーができず、決定打を何度も外した屈辱的な大会でした。涙。'94米大会での輝きをもう一度期待しています。FIFAランキング40位がなんだ！ 韓国代表はポルトガル、ポーランド、アメリカという強豪ひしめくD組に入ったのがどうした！ 初戦のアメリカに勝つかあ？ 急成長したアメリカに勝つかあ？ フィーゴ、ルイゴスタのポルトガルに勝つかあ？ どこでもエウから早く試合して勝つて〜と、まあW杯は勢いが大切です。韓国サッカーの熱いハートが勝利を導く！ そして、そ

の気持ちが大番狂わせを呼ぶんです！ 夢が叶うんです！ 真っ赤なスタンドにCOREEAのタオルが揺れる、この際にもCやねん？ なんぞつもらんつこみはいらない！ COREEA FORZA！ 意味なんていじやない。フォルツァよフォルツァイタリアンな響きの中に込められたメッセージ。たぶん韓国最高！ とかそんな感じではないか？ 98W杯予選の時、韓国ホームでの日韓戦、韓国サポーターから日本チームに向けて「Let's go to France」の垂れ幕に驚いた事を思い出します。今の日韓戦に以前の様なガチンコムードはもうありません。では06W杯に向けてFORZA！

POWER PLAYSOUND

Music is moistened our life. Tasteful album is here. We'd like to find your recommended one.

溢れるかえる音の中でもプライベートは一枚厳選



LICENSED TO ILL BEASTIE BOYS

輸入盤
「必聴は9曲目。注意して聴くとドラムマシンの音が全部逆回転されている！ 友達のパーティーなんかでDJをするときは、これをまた逆回転して本来のドラム音を聴いてみてほしい。スクラッチのやり方はもう古くなってきているけど、それも懐かしさがいんだよね」



innocent/innocent kru

輸入盤
「Innocentはダンスホールレゲエのユニット、スタンダードなリズムパターンにヒップホップっぽいサウンドがのびのびと流れて、レゲエパーで初めて聞いた時に「何コレ？」って、そのままレゲエCD屋に直行。たまたま最後の一枚を手に入れた。お宝CD」



ALL-TIME GREATEST HITS/BARRY WHITE

輸入盤
「流石の歌声が好きで、リクエストスクエアでもこのアルバムから2曲を挿入曲に使っているんだけど、やっぱり彼はスゴい。実は曲面を狭くも狭くもできないけど、オーケストラサウンドまで全て自分で作っていた。まさにアメリカディスコサウンドの神様！」



BREAK THE CYCLE/STAIND

輸入盤
「ミクスチャー系にハマっているのもCDのせい。一曲の中にヘビーなところとメロディアスなところが両方あって、ドラムがヒップホップ的なのもいい。詩が『子どもっぽい』ものじゃなくて精神的なことや時事的なことを訴えてるところにも惹かれるね」



穴にO. その心は？ ポール/alpha-STATION DJ
少年時代、その声を聞き「スーツの似合うヨーロッパ紳士に違いない」と目標にしていた人が、実際はヨロヨロTシャツ&スウェット姿の大男で愕然とした…。と、一点の挫折(?)はあるにせよ、子どもの頃からの憧れを現実にしたポールさん。alpha-stationでDJを始めてから、この7月でちょうど4年目を迎える。仕事に加え、バンド活動やコンゴの演奏にチャレンジするなど、常に様々なスタイルから音楽にアプローチしてきた彼だが、数多な音の中から「ナニ?」っと閃くものを見つけると、ただひたすら聴き続けるという没頭型。で、気分が変わればまた次を「ずーっと」。「ドレッドヘアのせいでレゲエしか聴かないとよく勘違いされるけど(笑)、ジャンルも不問。今回のセレクトも彼のそんな「ハマり遍歴」の一部だとか。今は「ひたすら」にミクスチャー系というポールさん。彼が担当する月〜木曜日16〜19時に放送中の「THE REQUEST SQUARE」で、アナタも「ハマり曲」に巡り合ってしまうかも。



boogaloo cafe + deli
プーガルー+デリ
京都市中京区寺町通四条上ル 寺町錦
小路ビル3F ☎075-213-1066
11:00~23:00/無休

運命の出会い!と思つたら後の事は考えないのが道楽
100回を迎えて今月からリニューアル! 街で評判の店長に注目! そんな店長が「この人は面白い」と思う店長を友達・知り合い・常連に聞かず、次々紹介していく。そんなじつじつなになります。今月は編集部推薦で「boogaloo cafe + deli」の阿久津氏が登場

100 店長 じゅずつなぎ

→revised edition
「コレ買ったんよ〜」と手首に光るフランク・ミュージアの時計に誇らしげな阿久津氏。値段で計るにはあまりに野暮なのはわかっちゃういるが、ウン百万円のシロモノである。普通人ならビビって後退りする逸品でも、常に迷わず即買いするという豪胆の主だ。その道楽っぷりは自らオーナーを務めるプーガルーカフェ他2軒の店にも顕著。色とりどりのイムズ群や、フランク・ロイド・ライトなど世界的な一品品は殆ど衝動買いによるものだという。だが彼を知る人は「チ、お金持ちめ」と嘲りはしない。カッコイイと感じる物が一流品なだけだし、シトロエンやアルファロメオなど快車乗り継ぐのも月に10枚もCDを買うのも「カフェで夢の一時を売る高売だし」と己のアイデンティティにケチをつけない男気ゆえ。マネーゲームなパブリーさとは無縁だ。「必須でない物に取って置いていうのが道楽でしょ! 金は何とかなるもんよ」と言い放つ。装束麗な生きさまだ。